



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：関根 美聡

【研究責任者】

聖路加国際病院 薬剤部 玉井 英子

入院中に緩和ケアチームが関わったがん患者の方を

対象とした、せん妄に関する研究

1.研究の対象

2018年4月1日～2021年3月31日に当院へ入院し、緩和ケアチームが関わったがん患者の方で、せん妄によりクエチアピンが投与された方

2.研究の目的・方法

聖路加国際病院では、せん妄に対しクエチアピンで治療開始するケースが増えています。緩和ケア領域ではせん妄誘発因子が併存していることが多く、排除することも困難です。疼痛等の症状評価が困難となり処置の遅延等の弊害が生じるため、せん妄コントロールは重要です。クエチアピン単剤治療に関する研究では、せん妄重症度を改善したとの報告がありますが、実際には他の治療薬を併用せざるを得ない状況が多くその際のクエチアピン投与量は明らかとなっておりません。そこで本研究では、クエチアピンによるがん患者におけるせん妄治療のコントロールの実態を調査します。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者背景：ID、氏名、合併症、既往歴

クエチアピン初期投与量：投与初日の1日投与量

クエチアピン維持投与量：DST陽性→陰性となった時点での投与量

せん妄の準備因子：性別、年齢、認知症の有無

がん種、転移（脳、肝臓、骨）、病期

併用薬：オピオイド、ベンゾジアゼピン系、ステロイド、他のせん妄治療薬（セレネース、リスペリドン、コントミン）の有無

検査値：腎・肝機能、電解質（高Ca血症、脱水）、CRP（感染：可逆的要因）NH3、ALB（低栄養）等